

令和8年度（2026年度）函館市地球温暖化対策地域推進協議会 会議概要

- 1 日 時 令和8年（2026年）5月26日（火）午後2時00分～3時00分
- 2 場 所 アクロス十字街4階大会議室
- 3 出席者 委員（15人）
佐々木香委員，武田和男委員（代理陳有崎），鏡典子委員，入江邦男委員，
佐藤浩志委員，須賀昌昭委員，出倉到委員，長崎健委員，駒井孝博委員，
川合祐史委員，松浦俊彦委員，水田浩之委員，池田誠委員，山本貴志委員（代
理濱本係長※途中参加），井上徹也委員
事務局（5人）
事務局長 百成慶恭（環境部環境政策課長）
事務局員 金丸敏哉（同課主査），渡辺文子（同課主査），
佐々木竜吾（同課主任），山崎美香（同課主任主事）
- 4 傍聴者 なし（随行者1人（北海道ガス株式会社函館支店））
- 5 発言要旨
 - (1) 開会
(事務局)
 - ・ 座席順に出席委員の紹介
 - ・ 事務局長から事務局員の紹介
 - ・ 資料の確認
 - (2) 議事
 - 挨拶
(池田会長)
それでは議事をはじめます。
本日の会議では，昨年度の事業報告や今年度の事業計画について，報告あるいは提
案がございますので，忌憚のないご意見をいただければと思いますので，よろしくお
願いします。
本日の終了予定時刻は午後3時半を予定しておりますので，皆様のご協力をお願い
します。
それでは議題に入りたいと思います。
 - ア 令和7年度（2025年度）事業報告について
事務局から「資料1－1 令和7年度（2025年度）事業報告について（報告）」
および「資料1－2 令和7年度（2025年度）はこだてスマートムーブデーの実
施状況について（報告）」により報告
※ 委員：意見なし
 - イ 函館市の温室効果ガスの排出状況について
事務局から「資料2 2022（令和4）年度函館市の温室効果ガスの排出状況および計
画に基づく2025（令和7）年度進行管理指標の進捗状況（報告）」により報告
(川合委員)
 - ・ 温室効果ガスの排出状況については，詳しいデータを整理されていると思いま
す。森林整備の説明がありましたが，吸収量については，どのように把握されて
いますか。函館市は人口が減っており，それに伴う住宅や耕作地の減少など環境
が変わっている中で，森林含めて吸収源が増えているのではないかと感じていま
す。

- ・ 資料２の１ページ目にあります表の下の方に吸収源対策という項目があり、吸収量が掲載されています。2021年度比で7.1%減少しています。

ウ 令和８年度（２０２６年度）事業計画（案）について

事務局から「資料３－１ 令和８年度（２０２６年度）事業計画（案）について」、
「資料３－２ 令和８年度（２０２６年度）はこだてスマートムーブデー事業（案）
について」により説明

（池田会長）

- ・ はこだてエコフェスタ２０２６の開催についての質問ですが、出展者を募集しているという認識でよいでしょうか。

（事務局）

- ・ ブース出展については、いままでご協力いただいた企業や団体に依頼して調整しています。スマートムーブについての啓発が、一昨年までは、委員の皆様の本町交差点に集まっていたが、のぼりの掲示やチラシ配りによる街頭啓発を行っていましたが、それに代わるものをエコフェスタで出来ないか考えているところで、市としても提案させていただきましたが、委員の皆様で他に提案していただければありがたいと考えております。

（池田会長）

- ・ 他に質問や、意見がありましたらお願いします。

（須賀委員）

- ・ 以前行っていたスマートムーブの街頭啓発には、何度か参加しています。こういう取り組みによってキーワードを繰り返し伝えていくことが実は重要で、こういう啓発を契機に例えば、エコを気にするようになった市民がエコな住宅を選択するとか、よりCO₂の排出が少ない燃料に変えるとか、あるいは函館市にあるクレジットのことを知るきっかけにつながっていくと考えています。いかに繰り返して伝えるか、また、繰り返して子供にも継承していくことが重要だと考えています。

エ はこだてスマートムーブデー優秀団体の表彰について

事務局から「資料４ はこだてスマートムーブデー優秀団体の表彰について（報告）」
により報告

※ 委員：意見なし

オ その他

（池田会長）

- ・ 事務局から何かありますか。

（事務局）

- ・ 先ほどご質問いただいた中で、吸収源対策の説明について補足させていただきますが、２０２２年度で約８６，０００t-CO₂の削減となっているのですが、２０２１年度と比べると7.1%数値が悪くなっています。吸収源がそれだけ減っています。２０３０年度の目標値が約９４，０００t-CO₂を単年度で減らさなければならぬという中で、目標値との数値の乖離が約８，０００t-CO₂となっており、森林が年をとって吸収できる量が減ってきている部分もあり、これまで以上に森林の整備をしていくことが必要と考えています。最近の取り組みとしては、海にある海藻などを使ったブルーカーボン、ブルークレジットというのがありますが、それらの数値は２０２２年度には反映されていないので、森林の整備に加えて海の中にある吸収源を育てていくことで目標に近づけていかなければな

らないと認識しております。

(池田会長)

- ・ 他に何かありますか。

(事務局)

- ・ 本日承認いただいた令和8年度の活動については、皆さまからいただいたご意見を十分配慮しながら進めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。最後になりますが協議会事業や運営に関する委員の皆様からのご意見につきましては、随時受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

(池田会長)

- ・ 以上をもちまして、本日の協議会を終了します。委員の皆様、ありがとうございました。

(3) 閉会